

平成 28 年度埼玉県オハイオ州スカラシップ 機械工学インターンシップコース レポート① 「知らない世界」

はじめに

私は、平成 28 年度の埼玉県機械工学インターンシップコース奨学生として留学させていただくことになりました、原田信太郎と申します。

この Nissin Brake Ohio でのインターンシップを兼ねた留学に応募した理由は、大学の授業で語学を学ぶだけでなく、現地のエンジニアと話し合うことで、海外でも対等に仕事ができるスキルが身につけられると考えたからです。

今回のレポートではフィンドレーでの生活を紹介します。

大学での生活

こちらでの生活が 2 週間経ちましたが、まだ慣れずにいます。授業は週に 3 回あり、10 時から 3 時までの時間割りとなっています。私のクラスには、サウジアラビア、ネパール、中国、台湾からの留学生がいます。とてもグローバルなクラスですが、少人数の授業なため、わからないことがあれば先生に質問しやすい、アットホームなクラスです。授業以外にも様々なオリエンテーションや夜にライブイベントがあり、とても刺激的な生活を送っています。

住居はキャンパス内にある 2LDK の家に 2 人で住んでいますが、キッチンや洗濯機など揃っており不自由なく生活することができます。



アーチセレモニーでの写真



NBO を初めて訪れた時の写真

NOB (Nissin Brake Ohio) での仕事

NBO での勤務時間は、朝 7 時半から 2 時までです。まだ勤め始めたばかりなので、工場や仕事内容の見学などを行いました。NBO には工場が 2 つあります。1 つはアルミニウムを溶かし、必要なパーツに再度固める鋳造を行い、もう 1 つは鋳造したパーツを機械に入れて加工し、パーツに問題がないか検査を行っています。現地のエンジニアの人はとても親切なので、わからないことがあれば詳しく説明してくれます。

車でのドライブ

アメリカでの交通手段として、NBO から貸していただいている車があり、その車で友人とフィンドレーから2時間くらいの場所にあるコロンバスに行きました。コロンバスには Easton City Center という大きなショッピングセンターや Tanger Outlet という場所があり、そこで買い物をしました。コロンバスからの帰り道に突然の大雨が降り、ガソリンを入れようとしたらやり方がわからなく困りました。



Easton City Center

まだアメリカでの生活が始まったばかりですが、悔いのないよう過ごして行きたいと思います。